

- ★OLスキー特捜隊★ 発行部数 29,755 部！
-
- いまだキOLたちがお届けする東京くちコムスキー情報。
- ヤブっぼい今シーズンにすてきな贈り物。

ごぶさたしております。OLスキー特捜隊のリカで～す。今年はラッセルなんて何？ っていうハクノリではじまったシーズン。みなさま、いかがでしたか。世の OL たちのなかでは「ヤブスキー」が流行っていたようですね。そろそろ、鼻水もおさまり、シーズンも終盤の春の恒例会山行。地味な山域。毛猛ってなんだか、けだものっぼい響きのある山域での集中でした。

▼1▼未丈でスキー！？

藪スキーだよ。白馬になるように、根回ししよう。と四ツ岳スキーの帰り道。興奮気味のメンバーで、雪稜も歩きもスキーも満足できるルートとれるしね、王道だしね……などと、話していました。しかし、会山行総リーダーの呪い、いえ、願いとでもいべき思いは、われわれを白いフィールドへと誘ってくれたのでした。しかも、ここ週末はいつもさえない天気だったのが、すっきりと晴れ渡り、どこまでも続く白い斜面がありました～。よったりとした稜線にあがるのに、暑かったこと！ へろへろな身体には、カルピス氷がしみます。

石井パーティーと前後しながら、さながらスノーピクニックのように、ブナの大木が気持ちよい稜線を行く。

そう、まるで「ヤマケイjoy」のようだよ。何が違うって、稜線のぐるりと先に見えました未丈が。とととおい。でも、目的地までいかなくは滑ることは許されないのよね、わたしたちは。

▼2▼穴に落ちた

日向倉山からシルンドをはずして、唯一のひと滑り。ア～、気持ちいい。真っ白い東面の山を見ながら、進んでいると、先行するパーティーリーダーのトレース2本が抜けている。「危ない」と叫んだのだが、すでにわたしのルートはシルンドにはまっていた。身体がふわりと浮いて～ 久しぶりの浮遊感。やっちゃった～。と思ったら、顔が圧迫され、とまった。大事にいたってない。だが、右手が動かない。足は動く。総リーダー曰く「引田天引もびっくり！ 消える艶女」。助けて～との一心から、足をばたばたしていたら、「スケキヨ」だったそうなの。



リーダーの声が聞こえたので、「助けて～」と叫ぶが、顔は雪に向かっている。くくるしい。埋没体験みたい。足は動くので、上から声がきこえて、ザックおろして～。と。そうだ、左手が動く。なんだ～ザックをおろして、右手を掘って立ち上がり、ザックを引っ張り上げてもらい、ザイルをたよって脱出できました。

そんなんで、時間かかりすぎて、空身でいっても目的地の北面、赤柴沢を滑って登り返して帰還し、きつとヘッドン行動になりそうな時間だったので、明日行こうと早々と適地に幕を張る。快適そうな斜面だが、腐れ雪のため、直下のスラフにより、気をつけながら3ターンして終わり。

ほぼ同行程の石井Pがトイレをのぞかれないう不安なほどの近さで上段に幕をしていたが、朝早出の計画にしたので、まばゆく空の下、早寝した。

▼3▼赤芝沢よ、待っててね。

翌4:00。早起き苦手なスキー隊だが、今日はお目覚めよく、キンとしまった空気の中、石井Pを起こして出発。自慢のスキーアイゼンで足取り軽い。稜線漫遊。矢野ちゃんPがまるでわざとらしいアウトドアのCM頁のようだよ。手前の乗越で、カリッカリの急斜面だったが、スキーアイゼンと石楠花でクリア。フリートレックのトレースは上向いてます、恐るべし。一番乗りのピークだが、雪がゆるむまでツェルトの中で待機しようとしたら、そのままガスられて、滑れませんでした。次々にやってくるパーティー。結局、ガスがはれなかったので、宿題となってしまいました。大滑降の予定だった赤芝沢と滝ノ沢。東面のおいしそうなる沢に会いにくると決意したOLスキー隊です。

※総リーダー：佐貫 パーティーリーダー：木下 写真：3mほどのシルンドから脱出最中

【発行日】1年に1度くらい 【発行、編集】新宿2丁目

【次予告】雪が少なけりや、釜で泳ごう！！ 腰掛け OL が沢ではじける夏も間近。

◆◆○●◆◆○●◆◆○●◆◆○●◆◆○●◆◆○●◆◆○●◆◆○●◆◆

Copyright(c)2007 白い妖精, All Rights Reserved.